

実施記載例（堰折り作業）

対象職場 *1 (鋳物製造工程等を記入)	1, 2, 3の実施担当者の実施日	7, 8の実施担当者の実施日
型ばらし工程	○ ○ ○ ○ H19年○月1日 △ △ △ △ H19年△月1日 ◇ ◇ ◇ ◇ H19年◇月1日	

社長	安全衛生 委員長	製造部長	課長
◎	◎	◎	◎

(化学物質・粉じん)

1. 作業名 (機械・設備)	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害 (災害に至る過程として「～なので、～して」+ 「～になる」と記述します)	3. 既存の災害防止 対策	4. リスクの見積り		5. リスク低減措置案	6. 措置案想定リスク の見積り		7. 対応措置		8. 備考 (残留リスクについて)
			有害性 レベル	ばく露 時間		リスク	対策 実施日	有害性 レベル	ばく露 時間	
堰折り作業	堰折り作業をしているとき、扇風機を後ろから当てているので、粉じんが舞い上がり、局所排気装置の集じん能力が低下しているため、粉じんを吸い込んでじん肺になる。	局所排気装置、防じんマスクの着用	a	EP4: 4 0	高	・スポットクーラーの設置 ・局所排気装置の形状、位置変更	a	EP4: 4 2	中	

(騒音)

1. 作業名 (機械・設備)	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害 (災害に至る過程として「～なので、～して」+ 「～になる」と記述します)	3. 既存の災害防止 対策	4. リスクの見積り		5. リスク低減措置案	6. 措置案想定リスク の見積り		7. 対応措置		8. 備考 (残留リスクについて)
			有害性 レベル	ばく露 時間		リスク	対策 実施日	有害性 レベル	ばく露 時間	
堰折り作業	シェークアウトマシンの稼働音が大きいため、難聴になる。	特になし	B	1時間 30分	中	D	1時間 30分	低	H19 X/1	作業環境測定の実施
同上	堰折り作業の音で、難聴になる。	特になし	B	1時間 30分	中	B	50分	低	H19 Y/1	作業環境測定の実施

(暑熱)

1. 作業名 (機械・設備)	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害 (災害に至る過程として「～なので、～して」+ 「～になる」と記述します)	3. 既存の災害防止 対策	4. リスクの見積り		5. リスク低減措置案	6. 措置案想定リスク の見積り		7. 対応措置		8. 備考 (残留リスクについて)
			有害性 レベル	作業の 程度		リスク	対策 実施日	有害性 レベル	作業の 程度	
堰折り作業	堰折り作業をしていたところ、作業所内の暑さのため、熱中症になる。	扇風機の設置	A	高代謝 作業	高	C	高代謝 率作業	高		
同上	堰折り作業をしていたところ、作業所内の暑さのため、熱中症になる。	扇風機の設置	A	高代謝 作業	高	C	低代謝 率作業	低		

* この一覧表は、職場の工程ごとに作成します。各工程の全ての作業（作業手順）を取り上げ危険性又は有害性の特定から進めます。